別紙1 参考様式

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日	
阿武町	宇田地区(郷、平原、葛籠、井部田、田部)	令和4年3月	令和4年12月	

1 対象地区の現状

① [‡]	40.1 h a				
27	35.6 h a				
③牡	20.4 h a				
	i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	12.5 h a			
	ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	2.4 h a			
④ 対	④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 2.3 h a				
(備考) 遊休地 2.0ha					

2 対象地区の課題

- ・地区内の農地のうち、70才以上の農業者の耕作面積が約7割を占めている。さらにそのうち後継者未定の 耕作面積が半数を超えており、担い手への集積・集約および新たな農地の受け手の確保が必要。
- 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針
 - ・担い手へ農地の集積・集約化を図り、さらに新たな担い手を確保していくことで対応していく。

(参考) 中心経営体

属性	.l.4L	農業者(氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
	1生		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範 囲
認農		認定農業者	野菜	5.5 ha	野菜	6.8 ha	
認就		認定新規就農者	野菜	1 ha	野菜	2 ha	
計 2人			6.5 ha		8.8 ha		

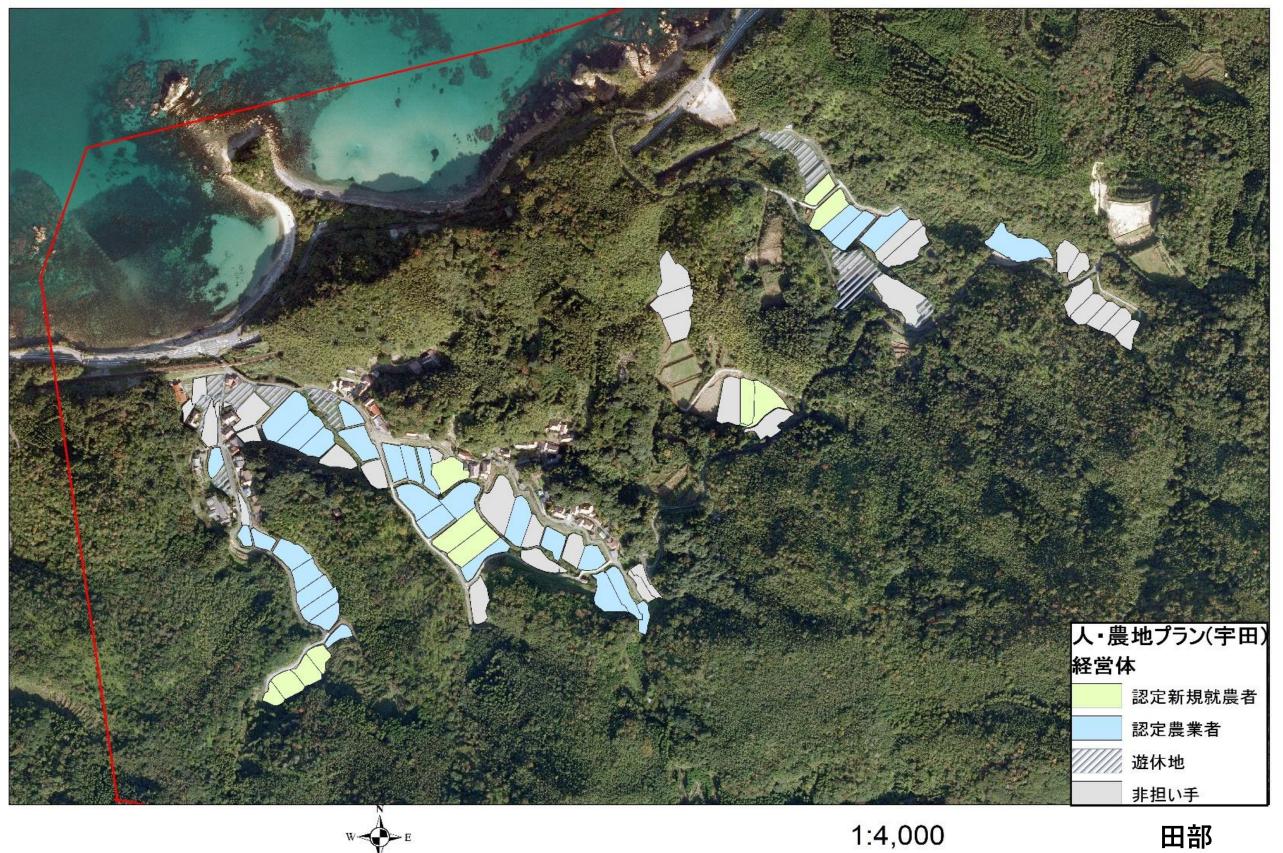
- 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)
 - ・新規就農者の確保 関係機関と連携を密にし、地域の将来の担い手対策を推進していく。

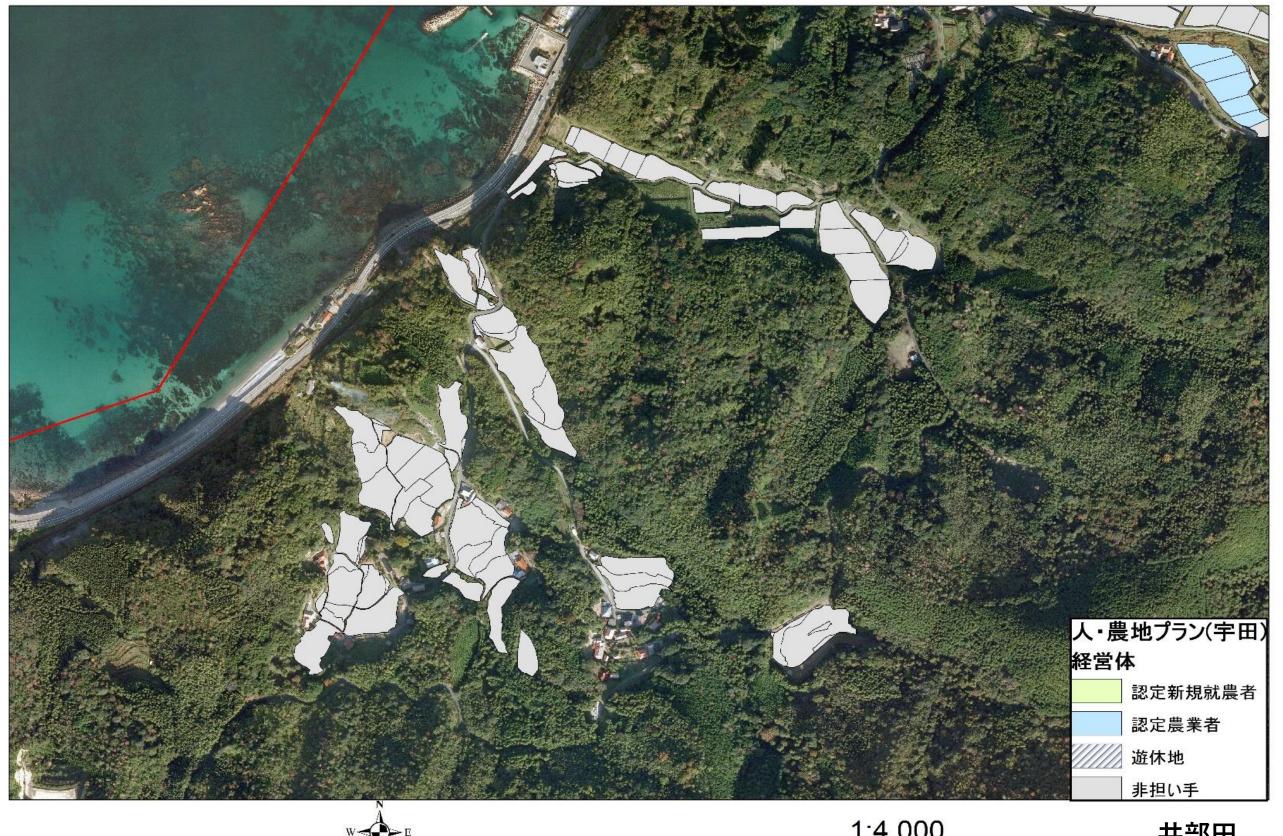


1:14,000



1:14,000





1:4,000 井部田

